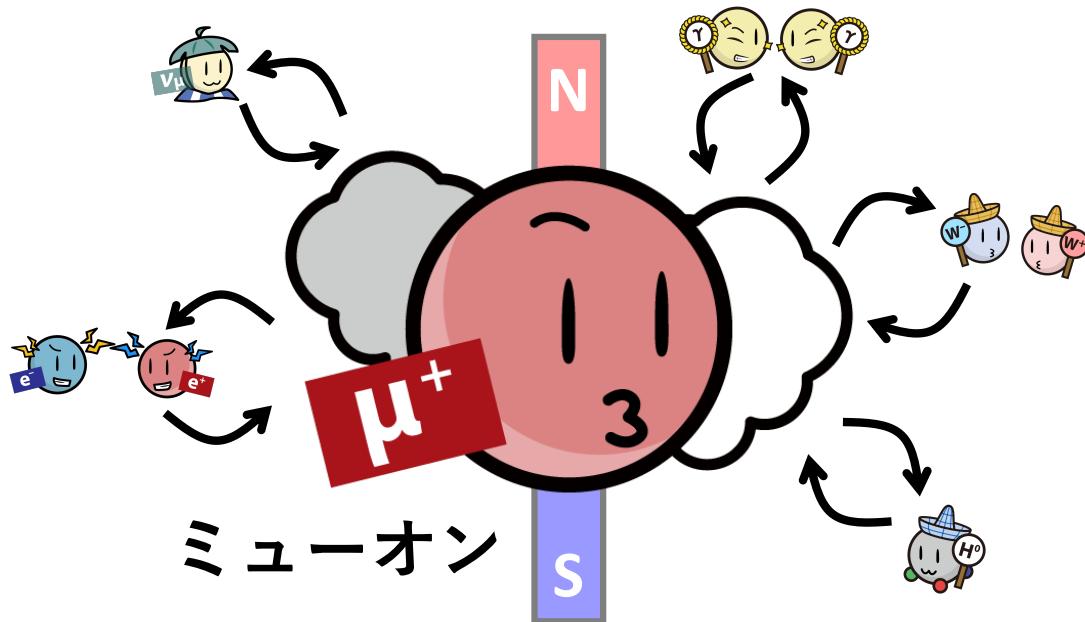


# 第118回理学部コロキウム

## 素粒子“ミュオン”で迫る宇宙の謎

理学部 物理学プログラム  
高エネルギー物理学研究室 佐藤優太郎



ミュオン

日時：10月27日（水）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）  
オンライン Zoom（教職員・学生の皆さんにはミーティングIDとパスコード  
を別途お知らせします）

みなさんはミュオンという粒子をご存じでしょうか。ミュオンはこれ以上分けることのできない物質の最小構成単位である“素粒子”の1種であり、電子とよく似た素粒子です。重さは電子の約200倍ありますが、それ以外の性質（電荷・スピン）は電子と同じだと考えられています。

ビッグバン直後の宇宙初期では素粒子が原子にならない状態であればらに飛び交っていた世界であり、素粒子を調べることで宇宙の成り立ちを知ることができます。近年、ミュオンを人工的に大量に作ったり、加速したり、検出する技術が発展して、ミュオンを精密に調べるための実験が盛んに行われています。今回の講演では、ミュオンがどのような粒子なのか、ミュオンを調べるとなにか面白いのか、分野外の方や学部学生を想定してわかりやすくお話します。

問い合わせ先：井筒ゆみ (izutsu@gs.niigata-u.ac.jp)